

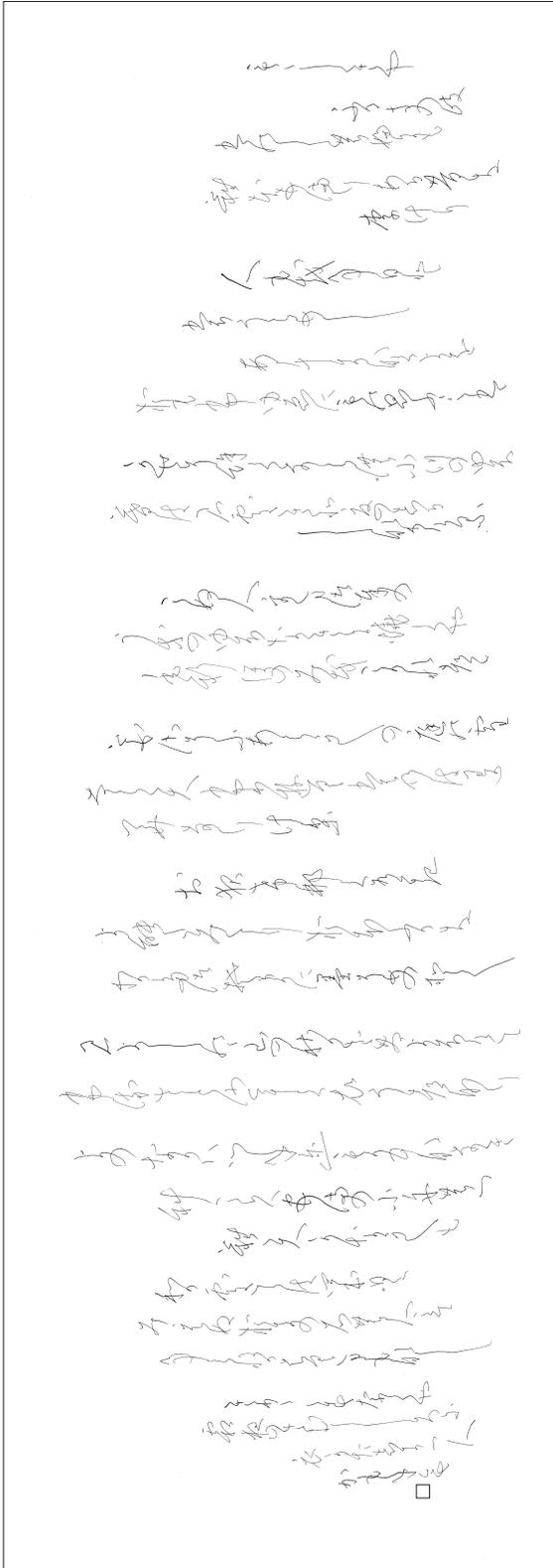
☆白運創作部・規定1部の選文・手本はこの形式ですが、

三浦映泉 常任理事選文・書 (用紙 40 × 90cm以内、タテ・ヨコ自由)
 ※この作品は、29.7 × 84cm に書いています。

〈参考文 C〉

〔出品委嘱 (師範)〕

●自運 〈創作〉 部



『百人一首』の歌

- ① ももしきや古き^の庭^端のしのぶにも
なほあまりある昔なりけり
 - ② 人もをし人もうらめしあおきなく
世を思ふゆゑに物思ふ身は
 - ③ 風ぞよくならの小^の川^の夕暮^は
みそぎ夏^ののしるしなりける
 - ④ 米ぬ人をまつほの浦^のの夕なごに
焼くや藻^の埋^のの身もこがれつつ
 - ⑤ 花えそふ風の庭^のの雪ならでぶりゆくもの
はわが身なりけり
 - ⑥ おほけなく憂き世の民におほふかな
わが立つ^に柳^に墨染^のの袖
 - ⑦ み吉野の山の秋風さ夜ふけて
故里さむく 衣うつなり
 - ⑧ 世の中は常にもがもな落漕ぐ
海^の土^の小舟^の綱手^{かな}しも
 - ⑨ わが袖は、潮干^{に見えぬ}沖の石の
人こそ知らね 乾^{くま}もなし
 - ⑩ きりぎりす鳴くや霜夜^ののさ^の庭^に
衣片^{かた}敷^きひとりかも寝む
- ※①～⑩『かな墨場辞典(和歌編)』より

この課題は約25%に縮小してあります。約400%に拡大するとほぼ原寸の大きさになります。

●規定1部

〔規定部四段く準師範〕

〈課題D〉

成田鳳石副会長選文・書

(用紙26×68cm、タテ・ヨコ自由)

〈課題E〉

野本翠苑先生選文・書

(用紙68×26cm、タテ・ヨコ自由)

白魚はさびしや
 ちのちき睦はなんとい
 なんといつしちりさびし
 ちのちつ胸をいたむ
 わがまゝししや
 かがやき
 さももが平な雀は啼け
 ふさはは迷ふにありて思ふめ
 ちて悲しくうたつめ
 としや
 ちふれて異土のち食ちちるち
 帰るちろにちましや
 ひろ都のちつちれに
 ちちちちちちちち
 ちちちちち
 迷ふちちちちちち
 迷ふちちちちちち
 銀の時計をちちちち
 ちちちちち
 ちちちちちち川の橋の上
 橋にもちちちちちちちち
 わが塵のちちちち
 緑ちちち
 ちちちちちちちち
 ちちちの涙せちちちち
 ちちちにちちちちちち
 ちちちの涙せちちちち
 室生犀星の詩と ○ ○ か く □

本文は現代表記に改めてあります。

この課題は約28%に縮小してあります。約356%に拡大するとはほぼ原寸の大きさになります。

五月の闇のくらい野を
 わが歩みは
 迷うこともなくしずかに辿る
 踏みなれた野の径を
 小さい石橋の下で
 横ぎってざわめく小川
 なかばは単におおわれて
 — その浅みもいまはただの闇だが
 水は反かにひかり
 真直ぐに夜のなかを流れる
 歩みをとめて石を投げる
 いつもするわが挨拶
 だが今夜はためらう
 ながれの底に幾つもの星の数
 なにを考へてあるいていたのか
 野の空の星をわが目は見ていなかった
 ああ今夜水の面はにぎやかだ
 蛍までがもう幼くあそんでいて
 星の影にまじって
 揺れる光もうごく星のよう
 こんな景色を見入る自分を
 どう解いていいかわからずに
 しばらくそこに
 五月の夜のくらい水べにしゃかんでいた

○ ○ か く □

この課題は約28%に縮小してあります。約356%に拡大するとはほぼ原寸の大きさになります。

本文は現代表記に改めてあります。

室生犀星「小景異情」
『室生犀星詩集』（新潮文庫）

伊藤静雄「野の夜」『日本詩人選18 伊藤静雄詩集』（小沢書店）
辿る（たどる） 仄か（ほのか）

●規定2部「規定部準初段〜三段」

〈課題 F〉 平田秋蹊常任理事選文・書

(用紙B4判Ⅱ約36・4×25・7cm、よこに使用)

なまかは知らねどむわびて
昔の伝説はそぞろ身にしむ
さびしく暮れゆくラインの流れ
入目に山々あかく栄ゆる
うるわし少女の巖頭に立ちて
黄金の柳とり髪のみたれを
ときつ口吟ぶ歌の声の
くすしき魔力に魂もまよう
こぎゆく舟びと歌に憧れ
岩根も見やらず仰げばやがて
浪間に沈むるひとも舟も
くすしき魔歌謡うローレライ

○ ○ かく □

近藤朔風「ローレライ」

『明治後期の家庭唱歌』（野ばら社）

この課題は約31%に縮小しています。約25%に拡大するとほぼ原寸の大きさになります。

一部をひらがなに変えています。

伝説（つたえ） 少女（おとめ） 巖頭（いわお） 口吟（くちずさ） ぶ
魔力（ちから） 魂（たま） 魔歌（まがうた） 謡（うた） う

〈課題 G〉

渡辺秋溪理事選文・書

(用紙B4判Ⅱ約36・4×25・7cm、たてに使用)

ああわれら千鳥にてあらまし
美しき貝の花ちるはなれ小島の磯にして
うちよする波の音をききつつ
さびしき口笛をふきてすごさん
または潮くさきしぶきに翼をぬらし
稻妻のごと飛びかけりつつ
呼びかい戯れてあそばん
わたつみの海のもなかにして
あしたにも
夕べにも
はたやよわにだにも
淋しき口笛を吹きならしつつすごさんを

○ ○ かく □

中 勘助「われら千鳥にてあらまし」『日本詩人全集18』（新潮社）より
この課題は約31%に縮小しています。約325%に拡大するとほぼ原寸の大きさになります。

本文は現代表記に改めてあります。

●規定3部 「規定部4級〜1級」

(用紙A4判II約29・7×21cm、たてに使用)

〈課題 H〉 田中瑛果理事選文・書

天気の良い日 きげんよく笑っている
机の上をかたづけ、ものを書いたり
ときどき眼をあげ うっとり
窓のところに 空を見ている
壁によりかかって いつまでも
おまえを考えることがある
そらまめのおいのする田舎など
○ ○ かく □

立原道造「二日は……」の一節『現代詩文庫1025 立原道造』(思潮社)

本文は現代表記に改め、一部をひらがなに改めてあります。

この課題は約38%に縮小しています。約263%に拡大するとほぼ原寸の大きさになります。

〈課題 I〉 岩間鴻舟理事選文・書

まだらに残る遠山の
あたらしい日あたりの
まことをこめた
雪の匂いに
椿のつぼみはしみじみと
ものさみしさを
ひめていたむ
さればぞ君のなつかし
○ ○ かく □

山村暮鳥「小曲」『山村暮鳥全詩集』(彌生書房)

本文は現代表記に改め、一部改行してあります。

この課題は約38%に縮小しています。約263%に拡大するとほぼ原寸の大きさになります。

●規定4部「規定部10級・新規く5級」

(用紙B5判 約25・7×18・2cm、たてに使用)

〈課題J〉

樋谷秋萌理事選文・書

ほっかりと

月がでた

丘の上をのっそりのっそり

だれだろう

あるいているぞ

○ ○ か く □

山村暮鳥「月」『日本詩人全集13』(新潮社)

本文は、一部を改行し、原文の読点を省略しています。現代表記に改めています。
この課題は約44%に縮小しています。約230%に拡大するとほぼ原寸の大きさになります。

〈課題文K〉

河村秋妍理事選文・書

おや こどもの声かする
家のこどもの泣き声だよ
ほんとに
あんまり長閑なので
どこか とおいとおい
おとぎ話の国からでも
伝わってくるように
きこえる
いい声だよ ほんとに

○ ○ か く □

山村暮鳥「おなじく」『雲』(日本図書センター)

本文は現代表記に改め、一部をひらがな・漢字に変えて改行しています。
この課題は約44%に縮小しています。約230%に拡大するとほぼ原寸の大きさになります。

●漢字1部 「規定部準初段」師範

(用紙B5判II約25・7×18・2cm、たてに使用)

〈選文自由〉

〈参考文献L〉 菊池智泉理事選文・書

選文の時間のない方は、この「参考文献」を選んでください。

緑楊堪繫五湖舟袖抔東風上
小楼晴樹遠浮青嶂出春江曉
帶白雲流古今我愛陶元亮鄉
里人稱馬少游不負平生一杯
酒相逢花下醉時休
王蒙詩 ○ ○ 書 □

この参考文献は約44%に縮小しています。王蒙「閒適」林田芳園編「墨場必携 明詩選」(書藝界) 約23%に拡大するとほぼ原寸の大きさになります。

【注】この参考文献を書く場合、①字体は自由。ただし新字体・旧字体の混用は避けること。②楷書・行書・草書のいずれかの書体で統一して書き上げること。▼用紙の使用はタテに。

●漢字2部 「規定部10級・新規」1級

(用紙A5判II約21×14・8cm、たてに使用)

〈選文自由〉

〈参考文献M〉 高橋南舟理事選文・書

選文の時間のない方は、この「参考文献」を選んでください。

一日千秋 公明正大
三寒四温 五風十雨
千山万水 月下冰人
○ ○ 書 □

この参考文献は約51%に縮小しています。約195%に拡大するとほぼ原寸の大きさになります。

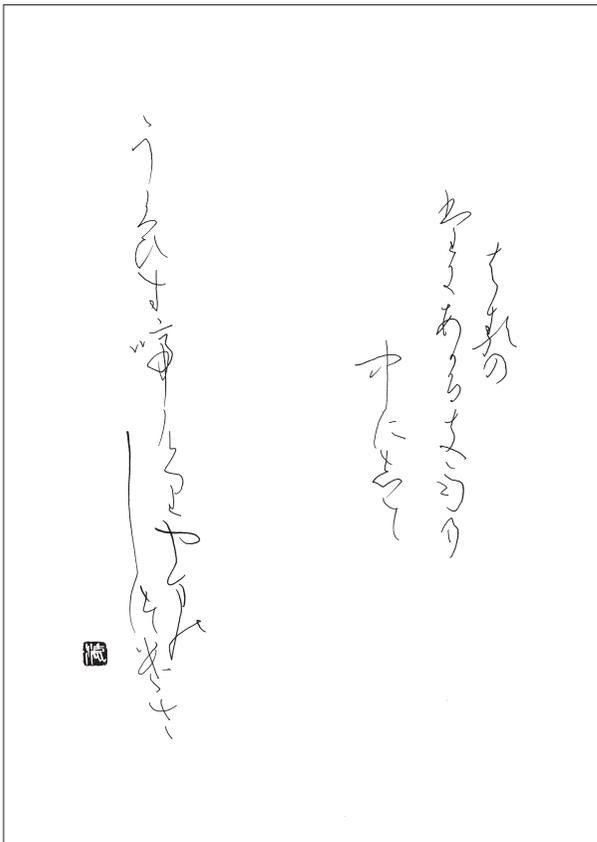
緑楊繫ぐに堪えたり五湖の舟袖は東風を抔つて小楼に上る
晴樹遠く青嶂に浮かんで出で春江曉に白雲を帯びて流る

古今我は愛す陶元亮
郷里人は稱す馬少游
負かず平生一杯の酒
相逢つて花下酔時に休す

●かな1部 「かな部初段」師範

〈選文自由〉
 (用紙B5判 約25・7×18・2cm、たてに使用)

〈参考文献N〉 中一泉流常任理事選文・書



尾上紫舟のうた『かな墨場辞典 和歌編』(東京堂出版)
 春の谷あかるき雨の中にして鶯なけり山のしづけさ
 者類の堂尔あ可る支雨乃中に志てう久ひす啼介里や万能し徒遣さ
 この参考文献は約44%に縮小しています。約230%に拡大するとほぼ原寸の大きさになります。

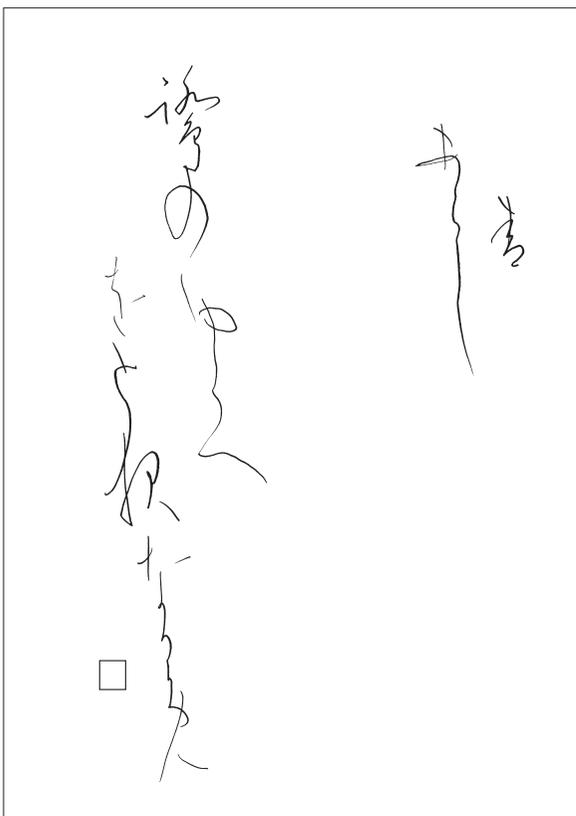
【注】①かな1部・2部とも参考文献です。和歌・俳句・その他何を
 書いてもかまいません。②かな作品風に仕上げてください。③参
 考文を書く場合、漢字・かなの変換は自由です。かな変換の時に
 は旧かな・新かなの混用をしないこと。とくに変体がな使用の際
 に留意。④用紙の使用はタテに。着色は自由。

筆で記入し、一緒に提出のこと。

●かな2部 「かな部4級」準初段

〈選文自由〉
 (用紙A5判 約21×14・8cm、たてに使用)

〈参考文献O〉 薄田玲泉理事選文・書



星野麦人の句『かな墨場辞典 俳句編』(東京堂出版)
 青嵐鶯のゆくへを遠眺
 青あらし鶯のゆくへをと報な可免
 この参考文献は約51%に縮小しています。約195%に拡大するとほぼ原寸の大きさになります。

●手紙文1部「規定部準初段」師範

(用紙B5判またはB5判以下の便箋形式)

〈選文自由〉

〈参考文献Q〉 田中麗秀常任理事選文・書

たて書き2枚組み

ゆい子さん、文芸賞おめでとう。
とうとう夢が実現しましたね、おばさんも
うれしくて感激しています。
「わたしの風船」という詩。
何回もくり返して読みました。
理解するのはちよつと難しいけれど読み
こんでいくといつのまにか詩の世界へと引
き込まれてしまいました。
「飾りけのないむしる地味なあり小れた
言葉の中に不思議な祈る力を持って

いる。真行きの深い力強さを感じる待た。
との批評が書いてありましたよ。
すばらしいじゃない！
これからたくさん書き続けてくださいね。
できれば小説も読みたいな。
将来が楽しみです。
遠くカナダの地から応援しています。
九月二日
絹本ゆい子様
小山和恵

参考文献Q・Rは約33%に縮小しています。約302%に拡大するとほぼ原寸の大きさになります。

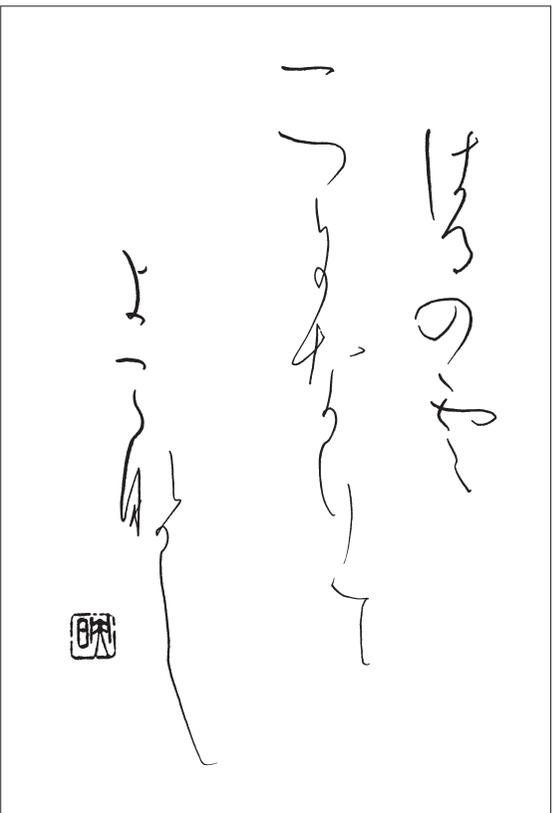
●かな3部「かな部10級・新規5級」

〈選文自由〉

(競書用紙Bを、たてに使用)

〈参考文献P〉

三浦映泉常任理事選文・書



村上鬼城の句「かな墨場辞典 俳句編」(東京堂出版)

はるの雲一つ尔なりてよこ那可し

はるの雲一つ尔なりてよこ那可し

この参考文献は約73%に縮小しています。約137%に拡大するとほぼ原寸の大きさになります。

〈選文自由〉

〈参考文献R〉

小高桃果理事選文・書

よこ書き一枚

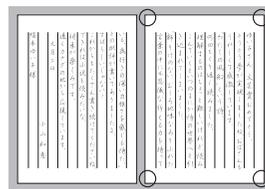
お元気でいらっしゃいますか。
今年秋が短く、すぐ冬の到来で、
楽しみにしていた栗の時期に伺う
チャンスを逃してしまいました。
残念に思っていました所、昨日御地
名産の栗の甘露煮が届き、有り難く
とてもうれしかったです。
早々にとお思いましたが、新年改めて
お二人お越しの折、ご一緒に頂きたく
存じます。
初春をめぐるその日心待ちに、
取り急ぎ御礼申し上げます。
11月30日
洋子

〈たて書き・よこ書きにつきまして〉

手紙文1部は、たて書き文章は2枚1組、よこ書き文章は1枚作品ま
たは2枚1組で出品可。たて書き文章1枚のみは出品不可です。

【注】

- 手紙文1部・2部ともに参考文献です。
- 文体は口語文（日常の現代語文）とします。
- 仮名表記は現代仮名遣いにこだわらず、旧仮名遣いでも可
っこうです。
- 体裁は実用的なものの範囲内で自由とし、一般的な書式で
仕上げてください。
- 用紙は縦に使用してください。罫線の有無は自由です。
- 行の字詰めは上記の通りでなくてもよい。
- 手紙文1部の作品は、台紙（270×375mm以内、色は自由）
に貼り付けて出品してください。
- 出品票一式を作品表面の左上にクリップでとめてください。



【作品貼付例】

四隅を軽くのりづけしてください。
両面テープ不可。



●手紙文2部「規定部10級・新規く1級」

(用紙八ガキ判Ⅱ約14・8×10cm、たてに使用)

〈選文自由〉

〈参考文S〉 山内珪秀理事選文・書

暑中お見舞い申し上げます
蝉しぐれがにぎやかな毎日です。
お元気でいらつーやいますか。
夏もこれからが本番、どうぞ
ご自愛のうえお過ごし下さい。

この参考文は約73%に縮小しています。約137%に拡大するとほぼ原寸の大きさになります。

●筆ペン1部「筆ペン部推薦く師範」

(用紙B5判Ⅱ約25・7×18・2cm、たてに使用)

〈課題T〉

田中鳴舟会長選文・書

夜更けて 燈火の下で
私のペン 私のインク壺
そして黒い布に蔽われた机
私はお祈りをするようにこれを書く
ことさらに白い紙の上に
立原道造「静物」を ○○ かく □

立原道造「静物」立原道造詩集(岩波文庫)より
この課題は約44%に縮小しています。約230%に拡大するとほぼ原寸の大きさになります。

●筆ペン2部 「筆ペン部準初段〜五段」

(用紙B5判Ⅱ約25・7×18・2cm、たてに使用)

〈課題U／行書〉

多田溪花理事選文・書

あたまを雲の上に出し
四方の山を見おろして
かみなりさまを下に聞く
富士は日本一の山

○ ○ かく □

「ふじの山」『日本のうた』（のぼら社）より
この課題は44％に縮小しています。約230％に拡大すると原寸の大きさになります。

●筆ペン3部 「筆ペン部10級・新規〜1級」

(用紙A5判Ⅱ約21×14・8cm、たてに使用)

〈課題V／楷書〉

田尻清峰理事選文・書

湖や
もろこ釣る日の
薄曇り
子規の句を ○ ○ かく □

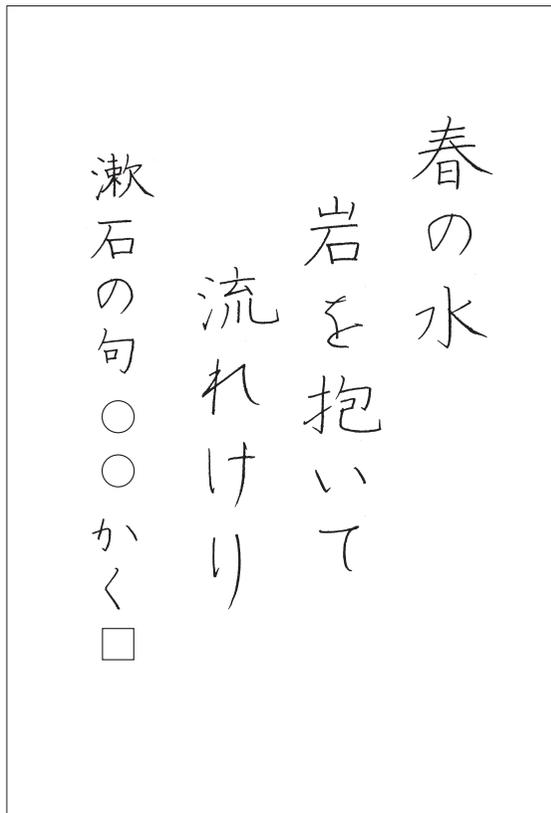
正岡子規の句『俳句歳時記 第四版増補 春』（角川文庫）
もろこⅡコイ科の淡水魚で体の細長い小魚。
この課題は約51％に縮小しています。約195％に拡大するとほぼ原寸の大きさになります。

●通信教育部「通信教育受講生・修了生」

(用紙八ガキ判Ⅱ約14・8×10cm、たてに使用)

〈課題 W〉

田中鳴舟会長選文・書



この課題は約73%に縮小しています。約137%に拡大するとほぼ原寸の大きさになります。原文の句読点を省略しています。

『漱石句集』(岩波文庫)より

著作権につきまして

「ペンの光」自由作品部ならびに全日本ペン書道展覧会出品作品等、ペン字作品全般につきまして、著作権の遵守をあらためてお願いいたします。

存命もしくは没後70年未満の作家(訳者含む)の文芸作品(詩、小説)や歌詞は著作権が保護されており作品の題材として引用し制作する場合は著作権者(著作者本人または著作権継承者、著作権管理団体)の許可を得る必要があります。著作物利用の申請手続きは、出品者各自が行ってください。許諾を得られた上でご出品ください。許諾の得られていない出品作品は展示及び本誌に掲載できません。また、著作権法に抵触した場合の損害賠償等は出品者が対応するものとし、主催者は一切関与いたしませんのでご注意ください。

▶書籍を作品にされる場合

日本文藝家協会 作品1件につき1,100円(税込・著作権使用料)
<http://www.bungeika.or.jp/procedur.htm>

▶音楽(歌詞)を作品にされる場合

一般社団法人 日本音楽著作権協会(JASRAC) 作品1件につき
3,300円(税込・著作権使用料)
<https://www.jasrac.or.jp/info/create/publish.html>

